

授業改善プラン

地域名	北総教育事務所	学校名	銚子市立清水小学校
-----	---------	-----	-----------

1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

- 国語の調査結果から、領域別では「書くこと」、問題形式では「記述式」に課題がある。
- 誤答分析の結果、目的に応じて文章を読み書きしたり、文章や図表等を結び付けて表現したりすることに課題がある。

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- 「書くこと」を指導する場面で、目的意識・相手意識をもたせる授業展開をする。
- 思考し、表現する力を高めるために、伝え合う場を工夫し設定する。
- 学校と家庭が連携して、児童が学びに向かう基本的な姿勢の確立をする。

3. 具体的な実践

- 3年生「しみずっ子オリジナル生き物ブックを作ろう」では、単元の導入で教師見本を提示することで、学習のゴールをもつことができ意欲に繋がった。ペアや少人数で作品を読み合ったり、付箋紙を使ったりする活動を通して、いろいろな表現に触れることができた。
- 4年生「自分だけの短歌を作ろう」では、教師見本の提示が、学習のゴールと短歌を身近に感じ、自分だけのオリジナル短歌を作る目的意識に繋がった。言葉集めやペアでの交流により、紹介する相手を意識しながら「より伝わりやすい言葉は何か」を考える児童が増えた。
- 全校で共通した学習規律の定着や家庭と連携した生活習慣の改善を目指し、年3回の「学力向上推進週間」を実施した。

4. 成果

- 学習のゴールを示すことで、「書くこと」の目的が明確になり、単元の最後まで学習意欲が継続するとともに、粘り強く書く活動に取り組むことができた。
- 文章表現や効果等について、視点を明確にして伝え合うことで、目的に合った表現に工夫することができた。
- 定期的な学力向上推進週間の実施により、学習用具の準備や家庭での学習時間の増加等、児童の情意面での変化が見られる。

◆担当指導主事から（北総教育事務所 指導主事 林 留美）

- 全国学力・学習状況調査の結果から課題を明確にし、国語科を中心に授業改善を行った。また、学校全体で学習規律の定着や家庭との連携に取り組み、学力向上へとつながっている。